

Centre for Ecological Studies

ネパールのシェイ・フォクスンド国立公園 における地域コミュニティに基づいたユキ ヒョウ保全の強化

活動地域  ネパール



ユキヒョウによる家畜襲撃防止柵の設置

課 題

国立公園におけるユキヒョウの正確な生息状況を把握し、人とユキヒョウの軋轢緩和に役立てるための保全策を講ずる。

目 標

ユキヒョウの研究により、人とユキヒョウの軋轢を減らすための改善策を明らかにする。また、エコツーリズムによる収入源維持が可能な地域コミュニティを構築する。



今後の
展望

多数の地域コミュニティと国立公園当局の活動参画により、ユキヒョウの個体数維持と人との軋轢緩和のためのより良い対策法を明らかにする。京都大学との間で締結した覚書を活用し、資金調達と技術支援の向上を図る。

活動内容と成果

カメラトラップを約150台設置し、市民サイエンティストを36人、SLCCを5人育成した。コミュニティベースのユキヒョウ保全活動を主導する能力を備えたSLCCは、デントなどのフィールド装備を整え調査を行った。2021年は224世帯に家畜被害アンケートを実施、家畜被害補償申請のサポートにより、5,758,000ネパールルピーを受け取ることができた。また、国立公園当局とともに二つの家畜被害防止柵を作った。少なくとも10回、地域コミュニティと会合を開き、約500人がユキヒョウ保全に関する意識を高めた。



カメラトラップに写った
ユキヒョウ

つづける助成

2年目

調査研究

家畜防止柵の設置

2か所

カメラトラップ設置数 150か所

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

65%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスによるロックダウンは大きな弊害となった。また、資金が限られているため、フルタイムの雇用不足が生じた。

■ 工夫した点

多くの市民サイエンティストを育成することで本活動を円滑に実施でき、活動を主導できる地域コミュニティの能力強化を図れた。

Lalitpur 44700, Province No: 3,

Nepal

電話: +977 984-8466166

E-mail: info.cesnpeal@gmail.com

HP: <https://www.facebook.com/CESNepal/>

